

歴史探訪

其の182
History Inquiry Club

文化財課 ☎22-1720
(博物館) FAX 22-2028

歴史を学ぶための博物館

本市で歴史学習の中心となっている田原市博物館は田原城二ノ丸跡に建設されています。渡辺華山や田原藩に関する作品・資料が展示收藏され、田原の歴史を紹介するシンボルとなっており、博物館法における登録博物館でもあります。常設展示室と特別展示室では、田原藩家老で幕末の文人画家であり、蘭学も研究していた華山の展示を行っているほか、企画展示室では、年数回の特別



●二ノ丸櫓跡に建てられていた華山文庫(鈴木政一氏撮影)

展・企画展を開催しています。ところで、この田原市博物館、何が元で、いつからあったかご存じですか。田原市博物館のルーツは現在も博物館の敷地に(建物として)ある「華山文庫」です。昭和9年10月に現在より一段高い二ノ丸櫓の位置に建設されました。設計は平成17年に「歴史探訪クラブ」でも取り上げた永瀬狂三(1877-1955)で、当

時は、華山の遺品や作品を、時期を限定して展示していました。その場所へ、昭和33年に郷土博物館が建てられ(現二ノ丸櫓として公開)、吉胡貝塚の資料や華山関係資料を常設で展示するようになり、昭和42年に華山会館が建設され、その建物内に田原博物館(通称華山文庫)として移動します。翌年には「華山の生涯と絵画展」で、230余点、昭和47年には、「華山百三十年祭記念遺墨展」を東京会場に続いて開催し、



●現在の田原市博物館

210余点が展示されました。昭和54年には、現在、博物館の分館になっている民俗資料館が開館しています。昭和63年からの一時期、田原地域文化広場内に移転し、平成5年に現在の博物館の建物が開館しました。華山顕彰の歴史は、田原城三ノ丸跡に華山頌徳碑が建立された明治23年(1890)に始まり、現在の公益財団法人華山会の前身である華山会が設立された明治43年(1910)から組織的に行われています。現博物館では華山に関する展示以外にも考古・郷土の歴史・美術や、合併後には自然や漫画などの新しい文化もテーマとして特別展・企画展を開催しています。古い博物館といえば、上野の東京国立博物館で、敷地内には明治41年(1908)竣工の表慶館や昭和12年竣工の本館があり、いずれの建物も重要文化財に指定されています。同じ時期にこの地域でも文化財への関心が高まっていたことが分かります。

(鈴木)